

# 京都から羽ばたけ！ライフサイエンス企業

京都大学の山中教授が作製に成功した iPS 細胞を筆頭に、京都は日本を代表するライフサイエンス分野における産業クラスターとなっています。この分野をリードするアメリカとのコネクションづくりは、京都のライフサイエンス企業にとってグローバルマーケットへのアクセスという点で非常に重要となっています。そこでジェトロ京都では、「地域貢献プロジェクト」の一環として、京都府、京都市とともに、京都大学、京都市リサーチパークなどの協力を得て、京都企業の海外展開支援、新技術の開発、企業誘致などを目的として、2月に京都企業6社をボストンならびにニューヨークに派遣しました。

## 最先端技術が集まるボストン地域

ボストン近郊は、マサチューセッツ工科大学(MIT)やハーバード大学など最高水準の教育・研究機関が立地するほか、世界トップの製薬メーカーもこぞって研究開発拠点を構えるなど、世界有数のライフサイエンスの研究シーズが集積。加えて、スタートアップを支援する拠点が多数存在し、大学発の技術やアイデアによるベンチャー企業が数多く生まれ育っています。

今回、現地大手製薬メーカー、ベンチャー企業、研究機関とのコネクション構築のため、計3回にわたるネットワーキングセミナーを開催しました。京都大学の小柳准教授から、京都のライフサイエンス産業について紹介した後、京都企業がプレゼンを通して自社の技術や製品をアピール。セミナー後は、ネットワーキングで現地企業との間で活発な商談、意見交換を行いました。

## 参加企業から手応えの声

セミナー以外にも、各社は現地企業との個別面談に臨み、活発な商談を行いました。また、州政府、市政府、インキュベーション施設、企業支援コンサルタント会社を訪問。コンサルタント会社に訪問した様子は、地元紙で大きく取り上げられました。

京都の参加企業からは、「現時点での自社の技術・製品に対する反応を確認する良い機会になった」、「日本からの訪問団含め、多くの関係構築ができ非常によい経験となった」、「アメリカ進出の拠点として、ボストン地域が適切であるとわかった」などの声が聞かれました。



京都企業によるプレゼン



ネットワーキングの様子



企業支援コンサルタント会社を訪問

### 京都市とボストン市は姉妹関係！

ボストンを含む周辺エリアには、150を超える大学が集積し、学生の街としても知られています。加えて、サイズがコンパクト。京都市とよく似ていますね。このように似た特徴を持つボストン市と京都市は、2019年に姉妹都市締結60周年を迎えます！

本プロジェクトをきっかけに、ボストン市と京都市の友好関係がライフサイエンス分野を中心に更に活発になるよう、継続してサポートしていきます。



【問合せ先】  
日本貿易振興機構(JETRO)  
京都貿易情報センター

JETRO

所在地 / 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
京都市リサーチパーク2号館2階

T E L / 075-325-5703 FAX / 075-325-5706

E-mail / KYO@jetro.go.jp

U R L / <http://www.jetro.go.jp/indexj.html>